

*White shot*



**POLA**

White shot

## かぎりなく、 ふきとばせ。<sup>※1</sup>

ホワイトショットからの新提案。  
メラニン排出&減少の美白<sup>※2</sup>・肌アレを防ぐ  
「ホワイトショット クリアスキンローション」誕生

有効成分PCE-DP<sup>※3</sup>はターンオーバーを促進することでメラニンの排出を促し、肌内<sup>※4</sup>のメラニン量を減少させ、メラニンの蓄積を抑え、シミ・ソバカスを防ぐ。

創業当初から美白<sup>※5</sup>研究を続けるポーラは、  
常識を疑い、シミへの不安<sup>※6</sup>と向き合い、  
時代とともに進化をし続けてきました。

今私たちを取り巻く環境は、  
激しい気候変動やライフスタイルの変化、美容の選択肢の多様化により、  
大きく変化しています。

過酷な環境や日々の中で、シミへの不安も高まる。  
つい、守りのケアに徹してしまう。  
それでも、美白<sup>※7</sup>ケアと向き合うあなたへ。

さあ、美白<sup>※8</sup>アクセセル<sup>※9</sup>。  
ホワイトショットのベーシックケアアイテム  
「ホワイトショット クリアスキンローション」誕生。

ホワイトショット独自の処方テクノロジーを搭載し、  
みずみずしくも濃密な手ざわりのローションが、  
使うたび肌を整え、うるおいにより明るく透明感のある素肌を目指します。

2026年2月1日 発売

### ホワイトショット クリアスキンローション

販売名 ポーラ WSクリアスキンローション

【医薬部外品】(化粧水)

美白<sup>※10</sup>・肌アレを防ぐ有効成分: PCE-DP<sup>®</sup>

肌アレを防ぐ有効成分:グリチルリチン酸2K

本体 150mL ¥9,350(税抜 ¥8,500)

リフィル 150mL ¥8,800(税抜 ¥8,000)

◆無香料・無着色

◆アレルギーテスト済み(全ての方にアレルギーが起きないというわけではありません)



※1: 美白ブランドにおける世界観をポーラから変えたいという姿勢のこと ※2・7・8・10: メラニンの蓄積を抑え、シミ・ソバカスを防ぐ ※3: デクスパンテノールW ※4: 表皮  
※5: メラニンの生成を抑え、シミ・ソバカスを防ぐ。メラニンの蓄積を抑え、シミ・ソバカスを防ぐ ※6: この先シミができてしまう不安 ※9: 美白ケアにポジティブに向き合う気分を高めていくこと

POLA





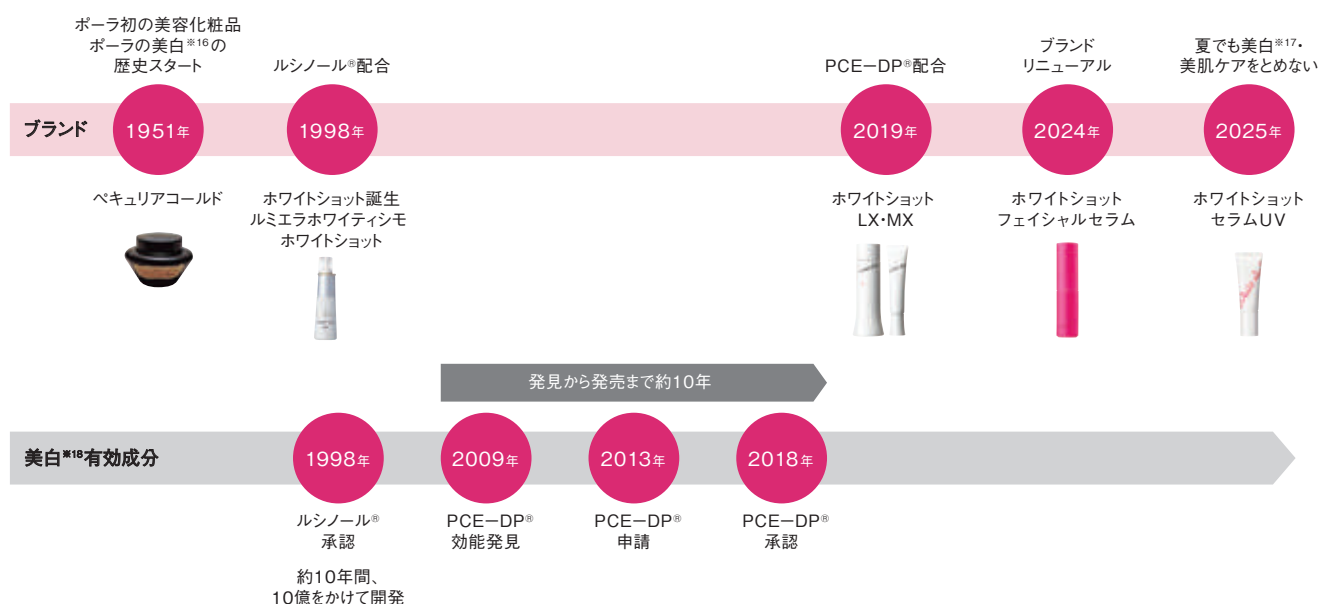
## ポーラの美白<sup>※1</sup>研究「ホワイトショット」の歩み

ポーラは、創業以来70年以上にわたり、美白<sup>※2</sup>研究を続けてきました。

ポーラの美白<sup>※3</sup>ブランド「ホワイトショット」は、1998年、約10年かけて研究し、承認を得た<sup>※4</sup>美白<sup>※5</sup>有効成分「ルシノール<sup>®</sup><sup>※6</sup>」を業界で初めて配合した「ルミエラホワイトティンモ ホワイトショット」からスタート。ブランド誕生以来、その時代に合わせさまざまな角度から美白<sup>※7</sup>研究を進めてきました。2018年には、市場で約10年ぶり<sup>※8</sup>の新規美白<sup>※9</sup>有効成分「PCE-DP<sup>®</sup><sup>※10</sup>」を開発。その翌年には「PCE-DP<sup>®</sup>」を配合した『ホワイトショット LX・MX』が誕生しました。

2024年には、「美白に、衝撃を。<sup>※11</sup>」をスローガンに、ブランドリニューアルを実施。発見・発明の驚きを表現した「エウレカ！ピンク」のパッケージへと装いを変え、2024年2月に発売となったのが、真皮に落ちる、メラニンに先手<sup>※12</sup>ケアを提案する美白<sup>※13</sup>美容液『ホワイトショット フェイシャルセラム』。今年の3月には、過酷な夏の環境に着目し、夏でも美白<sup>※14</sup>・美肌ケアを止めない、日中用クリーム・日ヤケ止め『ホワイトショット セラム UV』が誕生しました。

ポーラは、スキンケアが進歩し、美容医療が当たり前になった現代においても、シミへの不安<sup>※15</sup>と向き合うすべてのお客さまに、常に寄り添うことを目指し、研究開発を進めています。



※1・2・3・7・16：メラニンの生成を抑え、シミ・ソバカスを防ぐ。メラニンの蓄積を抑え、シミ・ソバカスを防ぐ ※4：医薬部外品有効成分として  
※5・12・13・14・17：メラニンの生成を抑え、シミ・ソバカスを防ぐ ※6：4-n-ブチルレゾルシン ※8：2018年12月時点。医薬部外品の新規美白有効成分として承認  
※9：メラニンの蓄積を抑え、シミ・ソバカスを防ぐ ※10：デクспанテノールW ※11：美白ブランドにおける世界観をポーラから変えたいという姿勢のこと ※15：この先シミができてしまう不安  
※18：ルシノール<sup>®</sup>は、メラニンの生成を抑え、シミ・ソバカスを防ぐ。PCE-DP<sup>®</sup>は、メラニンの蓄積を抑え、シミ・ソバカスを防ぐ

[ 製品特長 ]

## メラニン排出&減少の美白<sup>※1</sup>・肌アレを防ぐ。

有効成分PCE-DP<sup>®</sup>※2はターンオーバーを促進することでメラニンの排出を促し、肌内<sup>※3</sup>のメラニン量を減少させ、メラニンの蓄積を抑え、シミ・ソバカスを防ぐ。

過酷な環境や日々の中でも美白<sup>※4</sup>ケアを頑張るあなたへ。

使うたび肌を整え、明るく<sup>※5</sup>透明感<sup>※6</sup>のある素肌を。

### 成分

### 2種の有効成分 & 新成分含む3種の保湿成分配合。

- ◆ **NEW** ポーラオリジナル複合保湿成分「ECコンディショニングリキッド<sup>※7</sup>」を配合。
- ◆ メラニンの蓄積を抑え、シミ・ソバカスを防ぐ。肌アレを防ぐ。：美白有効成分「PCE-DP<sup>®</sup>」配合。
- ◆ 肌アレを防ぐ。：有効成分「グリチルリチン酸2K」配合。
- ◆ ポーラオリジナル保湿成分「SCリキッド」配合。
- ◆ 保湿成分「シラノール・ヒアルロン酸縮合液」配合。

※1・4：メラニンの蓄積を抑え、シミ・ソバカスを防ぐ ※2：デクスパンテノールW ※3：表皮 ※5・6：うるおいによる ※7：エイジツエキスとハトムギ発酵液の複合保湿成分

### ポーラ開発美白<sup>※1</sup>有効成分「PCE-DP<sup>®</sup>※2」

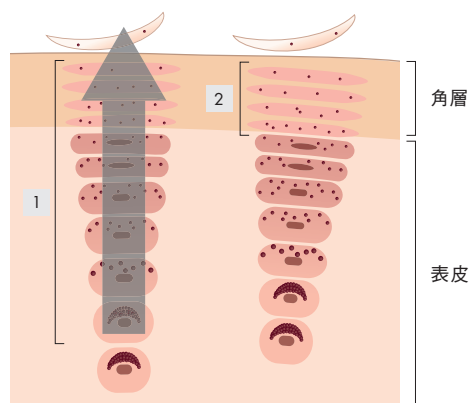
2018年に、市場で約10年ぶり<sup>※3</sup>の新規美白有効成分として誕生した「PCE-DP<sup>®</sup>」は、シミができる部位では表皮細胞のターンオーバーが滞り、メラニンが蓄積していることに着目し、開発しました。「いかにメラニンの生成を抑えるか」という従来の予防発想ではなく、「できてしまったメラニンにどう対処するか」という発想から開発がスタート。紫外線によるメラニンで黒くなった肌を想定して、実際の皮フと同じように複数の細胞を組み合わせた皮フモデルを作成し、何度も実験。約7400種類の素材から見出した有効成分です。承認を得るまでに約10年と困難な道でしたが、1998年に承認された「ルシノール<sup>®</sup>※4」で培った有効成分の開発ノウハウを生かし、2018年に承認を得ました。

#### 1.〈PCE-DP<sup>®</sup>のメラニン排出&減少の美白機能〉

肌内<sup>※5</sup>を掃除するように、ターンオーバーを促進してメラニンの排出を促すことで、肌内のメラニン量を減少させます。その結果、メラニンの蓄積を抑え、シミ・ソバカスを防ぎます。

#### 2.〈PCE-DP<sup>®</sup>は肌のバリア機能をサポートし、肌アレを防ぐ〉

PCE-DP<sup>®</sup>は、肌のバリア機能をサポートし、肌アレを防ぐ効能があります。美白と肌アレを防ぐケアを両立したい方にもおすすめの有効成分です。



(イラストはイメージです)

※1：メラニンの蓄積を抑え、シミ・ソバカスを防ぐ ※2：デクスパンテノールW  
※3：2018年12月時点。医薬部外品の新規美白有効成分として承認。 ※4：4-n-ブチルレソルシン (有効成分) ※5：表皮

[ 製品特長 ]

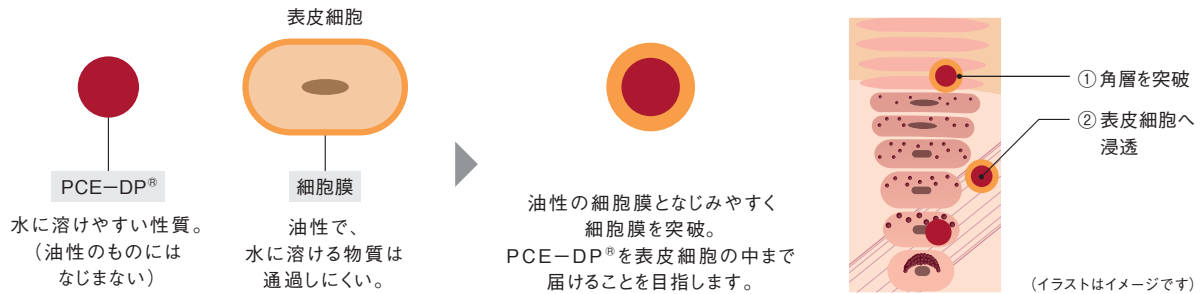
処方 1

2つのカプセルを配合し、うるおいを届ける処方

2つのカプセルを配合し、うるおいを届ける「CLショットデリバリー処方」を搭載。

1. 美白<sup>※1</sup>有効成分PCE-DP<sup>®</sup><sup>※2</sup>を表皮細胞に届ける、ポーラオリジナルの処方、「PCE-DP デリバリーカプセル化技術」を採用。

「PCE-DP<sup>®</sup>」を表皮細胞へ届ける必要があるため、水に溶けやすい性質の「PCE-DP<sup>®</sup>」が、油の性質をもつ角層の細胞膜の通過をサポートする「PCE-DP デリバリーカプセル化技術」を採用。美白有効成分「PCE-DP<sup>®</sup>」は、表皮細胞に届き、メラニンの蓄積を抑え、シミ・ソバカスを防ぎます。



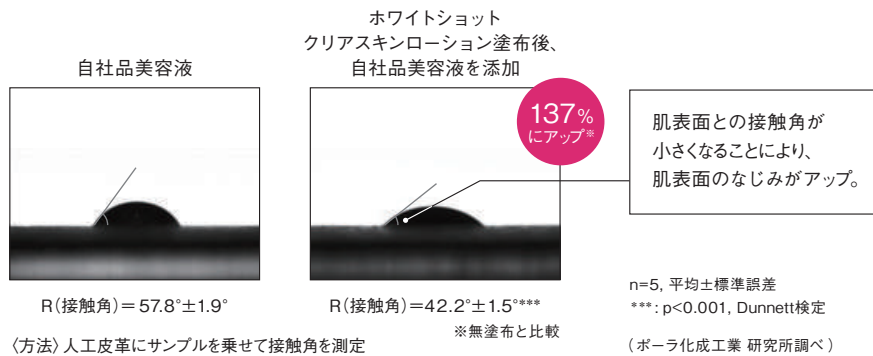
2. 脂肪酸を分子構造に含む成分<sup>※3</sup>を微細カプセル化した「細胞間脂質類似成分<sup>※4</sup>カプセル化技術」を採用。細胞間脂質類似成分を角層に届けます。

※1: メラニンの蓄積を抑え、シミ・ソバカスを防ぐ ※2: デクスパンテノールW ※3・4: 水添大豆リン脂質 (保湿成分)

処方 2

後から使うスキンケアの浸透感を高める、ブースター機能

洗顔後の素肌に最初に使うアイテムとして、後から使うスキンケアの浸透感を高めるブースターとしてもお使いいただけます。





## [ 製品特長 ]

### 効能・目指す肌

メラニン排出&減少の美白<sup>※1</sup>・肌アレを防ぐ。透明感<sup>※2</sup>のあるすこやかな肌を

有効成分PCE-DP<sup>※3</sup>はターンオーバーを促進することでメラニンの排出を促し、肌内<sup>※4</sup>のメラニン量を減少させ、メラニンの蓄積を抑え、シミ・ソバカスを防ぐ。

- ① 美白有効成分「PCE-DP<sup>®</sup>」がメラニンの蓄積を抑え、シミ・ソバカスを防ぐ。
- ② 有効成分「PCE-DP<sup>®</sup>」と「グリチルリチン酸2K」が肌アレを防ぎ、すこやかな肌を目指す。
- ③ 乾燥してくすんだ印象の肌にうるおいを与え、自然なツヤのある、みずみずしい透明感のある肌を目指す。
- ④ ニキビがしやすい大人の肌に。ニキビを防ぐ。
- ⑤ 紫外線によるダメージが気になる肌に。日焼け後のほてりを防ぐ。
- ⑥ 皮脂によるべたつきを抑える。
- ⑦ 肌にうるおいを与えひきしめ、毛穴が目立たない<sup>※5</sup>肌に整える。

※1: メラニンの蓄積を抑え、シミ・ソバカスを防ぐ ※2: うるおいによる ※3: デクスパンテノールW ※4: 表皮 ※5: うるおいにより角層の毛穴が目立ちにくい肌状態を保つこと

### 感触

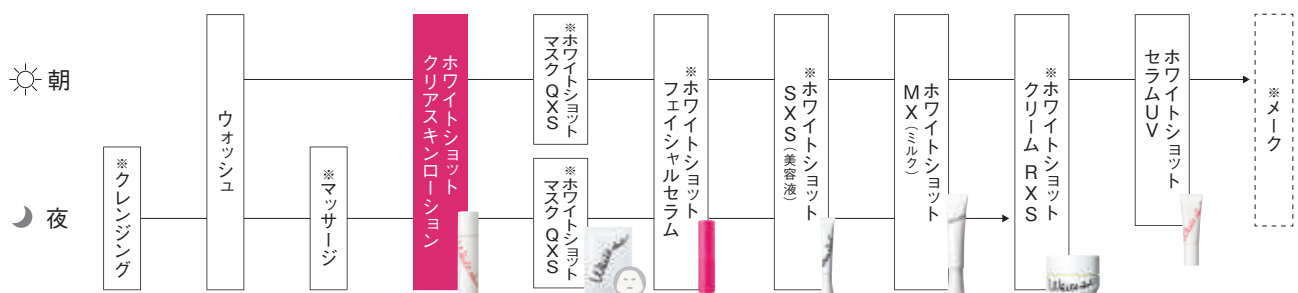
濃密なのにみずみずしくなじむ、心地よい感触

濃密でありながらべたつかず、みずみずしく広がる感触と、うるおいが肌にのび広がり落ち着くような保湿感。科学的データを指標として“心地よい感触”にこだわった設計をしています。

## 使用方法

ウォッシュ、またはマッサージの後、適量（10円玉硬貨大）を手にとり、顔全体にやさしくなじませてください。

## お手入れステップ



※肌の悩み・状態に合わせてお使いください。 ※クレンジングは、メイク品使用時は必ずお使いください。  
※セラムUVは、メイク品を重ねて使用しない場合は、普段ご使用の洗顔料のみで落とすことが可能です。 ※マスク QXSは、朝または夜のどちらかにお使いください。

# POLA

[ 製品特長 ]

社会・地球環境への取り組み

容器・リフィル



バイオマスPETを採用

バイオマス\*PETを一部に採用することで、化石資源の保護や二酸化炭素の削減に貢献。

商品外箱



森林認証紙を採用

適切な森林管理のもとに作られた木材を使用した、森林認証紙を採用。

リフィル対応

新たに廃棄物削減への取り組みとして、リフィルを販売。

生物由来のインクを採用

生物由来の資源（バイオマス）から成分を抽出して製造したインクを一部使用し、箱への印字を行うことで、生態系の保護に繋げる。

パンフレット



WEBパンフレットを採用

ペーパーレスへの取り組みとして、紙のパンフレットを廃止し、箱に記載されたQRコードを読み込むことで使用方法、全成分表示、使用方法動画が閲覧可能なWEBパンフレットを採用。

- ◆ 使用方法・使用量などは外箱にも記載があります。
- ◆ 5言語対応（日本語・英語・繁体字・簡体字・タイ語）

※植物由来の有機資源（化石資源を除く）

主な配合成分

| 配合目的            | 配合成分               | 全成分表示名称             |
|-----------------|--------------------|---------------------|
| 美白*1・肌アレを防ぐ有効成分 | PCE-DP®            | デクスバンテノールW          |
| 肌アレを防ぐ有効成分      | グリチルリチン酸2K         | グリチルリチン酸2K          |
| 保湿成分            | ECコンディショニンググリキッド*2 | エイジツエクス、ハトムギ発酵液     |
|                 | SCリキッド*2           | ビワ葉エキス              |
|                 | シラノール・ヒアルロン酸縮合液    | ジメチルシラノール・ヒアルロン酸縮合液 |
|                 | 細胞間脂質類似成分          | 水添大豆リン脂質            |

※1：メラニンの蓄積を抑え、シミ・ソバカスを防ぐ ※2：ポーラオリジナル複合成分またはポーラオリジナル成分  
◆無香料・無着色 ◆アレルギーテスト済み（全ての方にアレルギーが起きないというわけではありません）

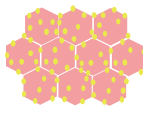
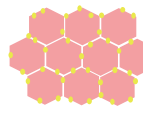
## [ 別添／ポーラの研究 ]

ポーラでは、気候変動の影響やライフスタイルの多様化により、肌を取り巻く環境が劇的に変化している中で、その苛酷な環境下でも、透明肌と良好な肌調子を両立することを目指し、研究を進めました。そこで、この両立に必要な「角層の成熟化」をヒントに研究したところ、細胞間脂質を構成する脂質の一つである「脂肪酸」にたどりつきました。

### 研究背景

#### ◆角層の成熟化

角層は、デスモグレイン1という接着因子によって結合・接着しています。角層が成熟していると、角層表層において、接着因子であるデスモグレイン1が細胞の辺部を残し分解されるため、メラニンを抱えた古い角層がはがれやすくなります。右の図のように、角層の成熟化は、肌の光散乱性と明度、肌への刺激に対する防御機能の向上において、重要であることがわかっています。

|             | 未成熟の角層                                                                                                                 | 成熟化した角層                                                                                                                   |
|-------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 断面図         | 重なり合ってはがれる<br>細胞間脂質で満たされるスペースが狭い<br> | 表層だけはがれる<br>細胞間脂質で満たされるスペースが広い<br>     |
| 角層表面を上からみた図 |  光散乱性が低く<br>肌トラブルがあり<br>肌の防御機能がない状態   |  光散乱性が高く<br>肌トラブルのない<br>肌の防御機能が高い状態が両立 |
| 光散乱性・明度     | 低                                                                                                                      | 高                                                                                                                         |
| 肌の防御機能      | 低                                                                                                                      | 高                                                                                                                         |

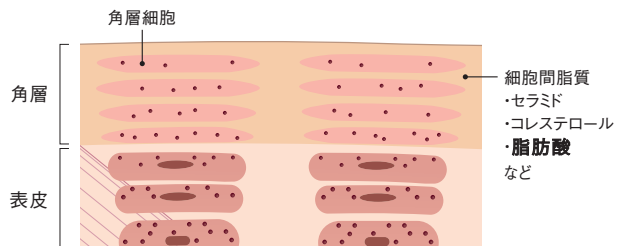
### 新着目

## 透明肌と良好な肌調子の両立のカギ「脂肪酸」

ポーラは、角層が成熟化し、透明肌と良好な肌調子を両立した状態に必要な要素を追求し、「脂肪酸」に着目しました。

#### 脂肪酸とは

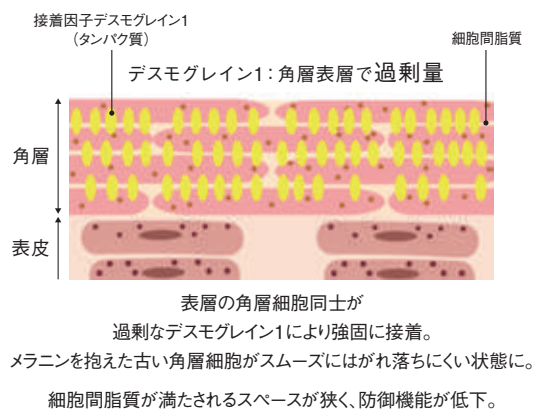
セラミド、コレステロールとともに肌の防御機能に関わる、細胞間脂質を構成する脂質の一つ。洗顔などで流され失われやすい。これまで、「脂肪酸」にはあまり着目されてこなかった。



### 業界初 新発見

## 脂肪酸が角層表層の接着因子を減少させる。 メラニンをかかえた角層がはがれやすく、かつ防御機能が高い角層構造に

ポーラは、脂肪酸により、角層表層の過剰に残ったデスモグレイン1が減少することを見出しました。これにより、脂肪酸によって、メラニンを抱えた表層の角層細胞がスムーズにはがれやすくなることが期待できます。また、角層表層にスペースができることで、より多くの細胞間脂質が満たされるようになり、肌の防御機能の向上も期待できます。



脂肪酸が増えると

#### 角層表層でデスモグレイン1の量が減少 デスモグレイン1: 角層表層で正常量

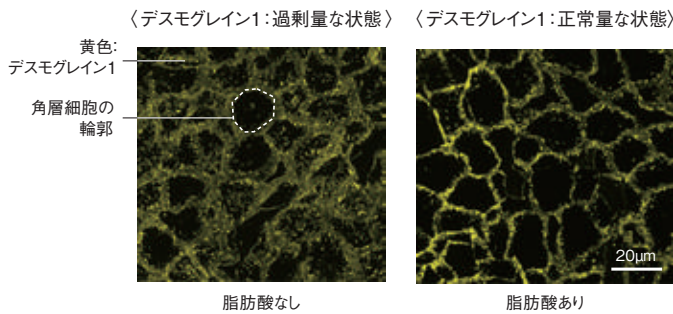


(イラストは全てイメージです)

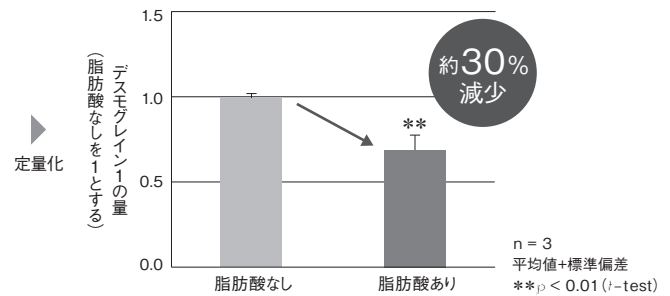
POLA



## 脂肪酸によって角層表層のデスモグレイン1が減少



左図：テープストリッピング法により採取した前腕外側の表層の角層を、脂肪酸(ステアリン酸)溶液に浸漬し、その後デスモグレイン1を免疫染色で検出し撮影した。



前腕より採取した表層の角層に、脂肪酸溶液を添加し、デスモグレイン1の発現量を調べた。

(ポーラ化成工業 研究所調べ)

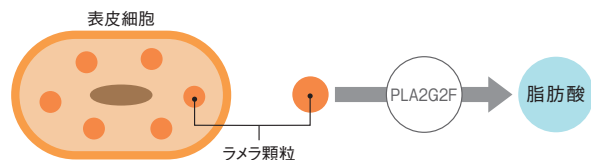
業界初  
新発見

## 脂肪酸を生成する酵素「PLA2G2F」は、メラノサイト活性化の抑制と、表皮細胞のメラニン受け取りの抑制に関与

脂肪酸は、表皮細胞で生成されたラメラ顆粒が、「PLA2G2F」という酵素によって分解されて、生成されます。今回ポーラは、「PLA2G2F」が少ない細胞では、メラノサイト活性化の促進と、表皮細胞のメラニンの受け取りの促進両方にかかわる重要なタンパク質である「FOXN1」が増加していることを発見。つまり、「PLA2G2F」が減少すると、脂肪酸の産生が低下するだけでなく、メラニン量の増加にもつながると考えられます。「脂肪酸」の産生力が高まることで、メラノサイトの活性化の抑制と、表皮細胞のメラニン受け取りの抑制ができると考えられます。

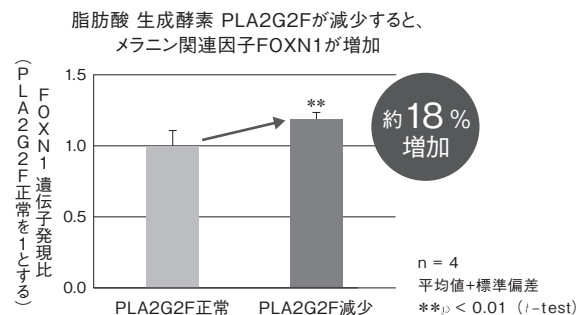
### 【脂肪酸 生成酵素「PLA2G2F」とは?】

PLA2G2Fは、表皮細胞内で生成されたラメラ顆粒(細胞間脂質の元になるもの)を分解し、脂肪酸を生成する酵素



### 【メラニン関連因子「FOXN1」とは?】

メラノサイト活性化の促進と表皮細胞のメラニン受け取りを促進、両方にかかわる重要なタンパク質



表皮細胞において、PLA2G2Fを人為的に減少させ、FOXN1の遺伝子発現量を調べた。

(イラストは全てイメージです)  
(ポーラ化成工業 研究所調べ)